

米国カリフォルニア州 核果類のシーズンは好調

[FreshPlaza](#) 2025年7月22日

「秋の核果類販売は小売業者のシーズン終盤の売上増加をサポートする」

カリフォルニア州の核果類シーズンは好調である。マウンテンビュー果実販売会社の事業開発部長であるケビン・シュタイナー氏は、「母なる大自然は、これまでのところ、暖かく晴れた日と華氏60度(16℃)の涼しい夜という理想的な栽培条件を提供してくれた」と述べている(以下「」は同氏の話)。これにより、モモ、ネクタリン、プラムコットの糖度が昨年に比べてやや高く、風味豊かで色付きの良い果実となった。高い品質はリピート購入を促し、慣行栽培の核果類に対する需要は安定しており、有機栽培品に対する需要は堅調である。メモリアルデー(戦没将兵追悼記念日、5月の最終月曜日)の後に国の東半分で天候が暖かくなり始めると荷動きも活発になった。同社では夏の終わりまたは秋口まで安定した製品の流れを確保することを目指している。

慣行栽培のモモの荷動きが活発化 同社は、慣行栽培と有機栽培の両方の核果類を栽培している。有機栽培がカリフォルニア州の核果類産業に占める割合はかなり小さい。「一部の有機栽培農地は慣行栽培に戻ったものさえあり、シーズン中の有機栽培品の荷動きは慣行栽培品ほど安定していないが、高品質な果実は常に流通している。」通常、7月後半に南部のモモの収穫が終息し始めると、カリフォルニア州の慣行栽培のモモは荷動きが再び活発になる。

シーズン後半の出荷予定 同社の夏の核果類の品種はレイバーデー(勤労者の日、9月の第1月曜日)の頃に終了し、その時点でシーズン後半の果実に移行し、『オータムライブ(秋の実り)』のラベルの箱で出荷される。「これは、シーズン半ばの核果類と同じコミットメントと価値観の延長線上にある。」違いとして、これらの品種はシーズン半ばの果実よりも遅く成熟するため、シーズン中で最も風味豊かな部類の果実であり、10月まで入手可能である。「これらの晩生品種を明確に打ち出すため、弊社では秋の特別な販売プログラムを開発した。そこではテーマボックス(化粧箱)のほか、小売業者が秋の数カ月間、核果類の強い存在感を維持するために利用できるオータムライブ用の陳列台を用意した。」

秋のモモとスモモ 「この特別プログラムのための小売サポートは充実している。」それは消費者に秋にもまだ核果類が手に入ることを知らせ、それらの商品が秋に販売するために植えられ、育てられたものであり、夏の品種の残りではないことに理解を得る上で役に立つ。さらに、秋の販売プログラムは、小売業者がシーズン後半の売上を増やすことを支援する。全体として、それは核果類の消費と販売額を増やすのに役立つ。「消費者から秋に1回か2回の追加購入を得るだけでも、この業界にとっては勝利である。シーズンを香り高い果実で締めくくすることで、消費者の次のシーズンへの期待が高まることを願っている。」

新しいパッケージ 同社は今年、各ブランドのシンボルカラーを維持しながら、更新されたすっきりとした外観の新しいパッケージを発表した。赤は主体となる『サマーライブ』ブランド、青は『サマータイム』ブランド、オータムライブはシーズン後半のモモ、ネクタリン、スモモ用である。有機栽培品については、更新された外観はまさに有機を思わせるアース系の色調を採用している。「弊社の販売部長であるクリスタ・ベックステッドは、このプロジェクトを先導する素晴らしい仕事をした。彼女はまた、パッケージの更新に合わせてすべての陳列台のデザインを見直した。」販売用の陳列台は、核果類のディスプレイを強化するために使用され、衝動買いを獲得している。

「多世代にわたる家族経営の生産者達が、取引先や消費者に可能な限り最高の体験を提供するために日々努力しており、この献身なしには弊社の販売プログラムを提供することはできない。弊社の品質とサービスへの取り組みは、果樹園にいる生産者とオーナーのマイク・サーロウとともに始まる。これは、弊社のチームの色合いを設定するのに役立ち、我々は取引先に高レベルのサービスと品質を提供するよう努めている。」

執筆者: マリーカ・ヘムス

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)